Ⓐジャズ喫茶 RAGTIME（ラグタイム）（千歳烏山）

住所 南烏山5-17-13　装和不動産ビル 3F　tel. 3309-1460
アクセス 京王線「千歳烏山駅」西口より 徒歩１分
営業時間 15:00 ～ 26:00　定休日 年末年始

木製の急な階段を上りドアを開けると､そこは70年代の東京。「ラグタイム」は1978年開店の世田谷区屈指の老舗ジャズ喫茶。少し暗めの照明の下、開店当時からの木製のインテリアや鎮座する巨大なスピーカーが年輪を感じさせます。

カウンターはもちろんスピーカーの上にまで所狭しと収蔵されたレコードは、なんと4,000枚。50、60年代のマイルス、コルトレーンといったモダン･ジャズが中心ですが、女性ヴォーカル、フリーやフュージョンなど、ジャズ全体を知ってもらうために偏りのないローテーションを心がけているそうです。リクエストは可で､1人1枚まで。レコード・リストがあるので、それを見ているだけでも楽しい。50～70歳代のお客さんがメインだが、最近は若い層が増えてきたとか。

オーディオ：アンプ Marantz 250M／スピーカー JBL4343B／プレーヤー MicroDD8, Technics SL1200MK5　**レコード**：約4,000枚　**CD**：約200枚

40周年記念Tシャツも販売中

お薦めの１枚
Saxophone Colossus/Sonny Rollins(Prestige)
初代マスターが大好きだったというカリプソ風味のソニー･ロリンズの1956年発表の代表作。

特集
せたがや ジャズ喫茶巡り

日本独自の音楽文化、ジャズ喫茶。近年では往年のジャズ・ファンはもちろん、若い世代や海外の方からも注目を集めています。先号の特集「ジャズ喫茶の楽しみ方」ではジャズ喫茶のルールやマナーをご紹介しました。次のステップは、実際にジャズ喫茶へ行ってみましょう。今も残る老舗・名店からカフェ・スタイルの新規店まで、世田谷区内のジャズ喫茶をご案内します。ちょっと大人な音楽と文化に出会う「せたがやジャズ喫茶巡り」に出かけませんか。

住所 北沢2-9-22 EIKOビル 3F　tel. 5138-7107
アクセス 小田急線「下北沢駅」南西口・北口より 徒歩２分
営業時間 15:00 ～ 23:30　定休日 火・水

ⓒJAZZと喫茶 囃子（はやし）（下北沢）

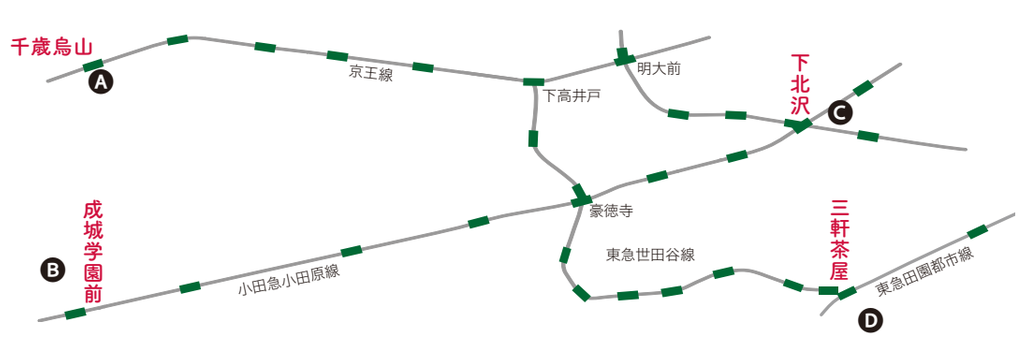
2017年にオープンした「JAZZと喫茶 囃子」。かわいい猫のイラストの看板がお出迎えしてくれます。店内は木の温もりを感じる家具で統一され、まさにお洒落なカフェそのもの。でも、あなどってはいけません。ここは下北沢・伝説のジャズ喫茶「マサコ」でアルバイトをしていた女性が始めたお店なのです。

とはいえ店名が「ジャズ喫茶」でなく､「ジャズと喫茶」なのは、ジャズに詳しくない人にも気軽にジャズを楽しんで欲しいから。店主が「ジャズ」を感じれば、民謡、シャンソン、ハウスでもかけるとか。なお、リクエストは不可。下北沢というロケーションからかお客さんは若いカップルの比率が高い。コーヒーは店主お気に入りの焙煎工房から仕入れ、パック入りオリジナルブレンドを販売するほどのこだわりです。

オーディオ：アンプ Marantz／スピーカー JBL／プレーヤー Technics　**レコード**：約400枚

お薦めの１枚
MONTREUX AFTERGLOW/山下洋輔トリオ（フラスコ）
1976年発表の第３期山下トリオのモントルー・ジャズフェスティバルでのライブ・アルバム。山下さん、坂田明さんのサイン入り。現在、コンプリートをめざし小山彰太さんのいる北海道ジャズ旅行を計画中。

パッケージがかわいいコーヒー･パック



Ⓑ CAFE BEULMANS（カフェ ブールマン）（成城学園前）

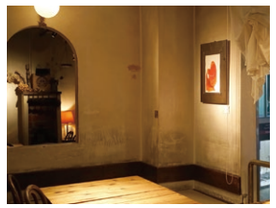
成城学園前北口の商店街にある「カフェ ブールマン」。明るい日差しにあふれた広々とした空間は、いかにも成城らしい上品な喫茶店といった雰囲気。それもそのはず、もとは1980年開店の手作りチーズケーキが評判の喫茶店でした。2012年に現在のマスターがジャズ喫茶に衣替え。当時の熟成コーヒーとチーズケーキは今も健在です。

店内に流れるのはモダン・ジャズはもちろん、ECMといったクールなアバンギャルド系、さらにはアンビエント、タンゴまで。真空管アンプで聴く音楽は格別です。リクエストも可。

マスターいわく「ジャズ喫茶とは文化発信の場。音楽を通じての出会いを提供したい」とのこと。ジャズ喫茶には珍しく女性客がメイン。週末は話題のアーティストのライブを行っています。

オーディオ：アンプ LEAK point one stereo／スピーカー SANSUI LE8T／プレーヤー Linn　**レコード**：約1,500枚　**CD**：数百枚

お薦めの１枚
Sart /Jan Garbarek（ECM）
スウェーデンのサックス奏者ヤン・ガルバレクが1971年に発表したECM初期の名盤。お客さんのいる時にはなかなかかけられない、マスターいわく「過激で重厚かつ繊細な一枚」。


鎮座する真空管アンプ

住所 成城6-16-5 カサローザ成城2F　tel. 3484-0047
アクセス 小田急線「成城学園前駅」北口・西口より 徒歩３分
営業時間 15:00～24:00L.O.　定休日 火・日（イベント開催時は営業）

お薦めの１枚
Fly With The Wind /McCoy Tyner(Milestone)
1976年発表のマッコイ・タイナーの隠れた名盤。リズム･セクションはロン･カーター(B)、ビリー・コブハム(Dr)。若いお客さんの時にかけると「これもジャズなんですか」と聞いてくることが多いとか。もちろんジャズです。

住所 太子堂1-15-15　tel. 3410-7903
アクセス 東急田園都市線「三軒茶屋駅」南口より 徒歩５分
営業時間 19:00 ～ 25:00L.O.　定休日 年末年始、不定休

Ⓓ Jazz Inn Uncle Tom（アンクルトム）（三軒茶屋）

三軒茶屋駅南口、栄通り商店街の喧噪を抜けると黄色と黒の看板が眼に飛び込んでくる。「ジャズ イン アンクルトム」は1977年オープンの老舗。店先にはジャズの名盤のジャケットが飾られ、店内には往年の名プレイヤーたちのポスターが貼られています。

得意のジャンルはビル・エヴァンスやエリック・ドルフィーといった60～70年代のモダン・ジャズ。リクエストは不可。とはいえ、店の趣味を押し付けるのではなく、その日のお客さんの雰囲気を見てマスターが選曲。いわく「自分の家で聴くと、自分の好きな物ばかりになってしまうけど、ジャズ喫茶なら新たな出会いと発見があるはず」とか。夜からの営業なのでお酒のお客さんが多いのですが、コーヒーは注文が入ってから手挽きし、ドリップします。

オーディオ：アンプ MAX50／ミキサー ECLER／スピーカー JBL4312XP／プレーヤー DENON DP1300M　**レコード**：約2,000枚